前橋市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書 【概要版】

令和6年10月

前橋市

◆ ニーズ調査概要 ◆

1 調査の目的

第3期前橋市子ども・子育て支援事業計画策定に向けて、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するために、「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」を実施しました。

2 調査期間

令和6年7月5日(金)~令和6年7月31日(水)

3 調査対象

就学前児童保護者: 市内在住の0歳から小学校就学前のお子さんのいる家庭の中から

無作為に抽出※ひとり親家庭を含む。

小学生児童保護者: 市内在住の小学生のお子さんのいる家庭の中から無作為に抽出

※ひとり親家庭を含む

※ 令和6年6月1日現在の住民基本台帳より無作為抽出

4 配布数および回収数

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童保護者	1, 200	798(内 web402)	66.5%
小学生児童保護者	1, 400	654(内 web361)	46.8%
計	2,600	1, 452	55.8%

◆ 未就学児童保護者 ◆

①お子さんについて

●お住いの地区

お住まいの地区は、

「本庁管内」が 41.5%、「桂萱」が 8.5%、 「南橘」が 6.3%、「上川淵」が 6.0%と なっています。

※「本庁管内」とは、「上川淵」~「富士見」の地区 に該当しない地区です。



●年齢



お子さんの年齢は、

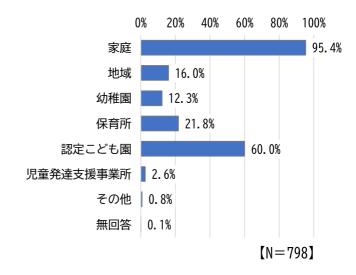
「5歳」が20.9%、「4歳」が18.8%、「3歳」が18.3%となっています。

●子育てにもっとも影響すると思う環境

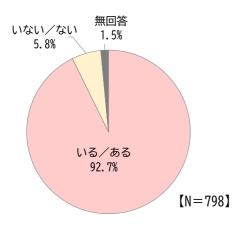
子育て(教育を含む)でもっとも影響を与 えると思う環境については、

「家庭」が95.4%と最も多く、次いで 「認定こども園」が60.0%、

「保育所」が21.8%となっています。



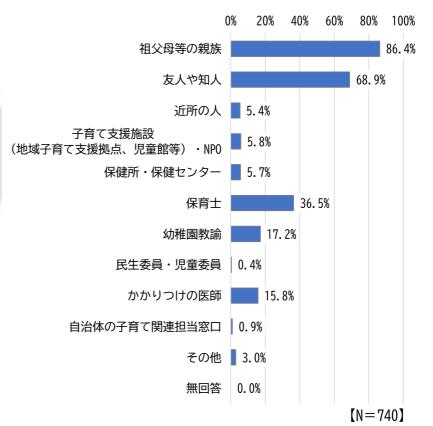
●子育ての相談できる人はいますか



子育ての相談できる人の有無については、 「いる/ある」が 92.7%、「いない/ない」が 5.8% となっています。

●相談先は誰(どこ)ですか

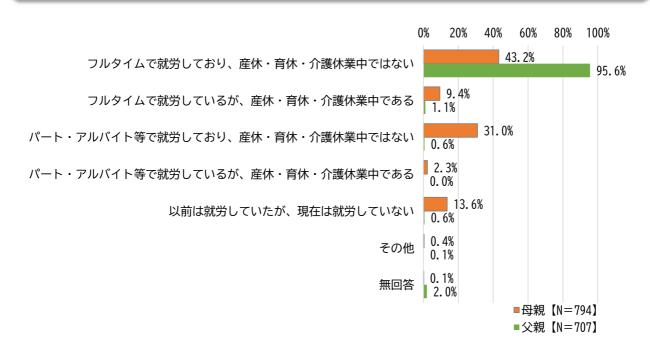
気軽に相談できる先は、 「祖父母等の親族」が86.4%、 「友人や知人」が 68.9%、 「保育士」が36.5%となってい ます。



③保護者の就労状況について

●就労状況を教えてください

就労状況については、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない」が母親(43.2%)・父親(95.6%)ともに最も多くなってい ます。



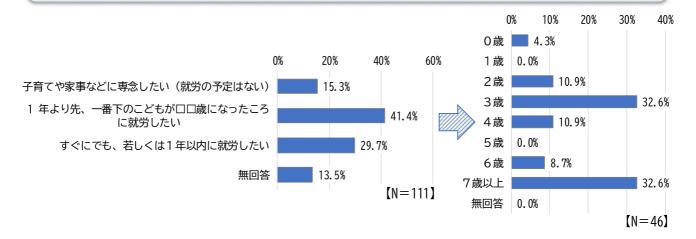
●就労している母親・父親の1日当たりの就労時間



1日当たりの就労時間については、 母親は「8時間程度」が26.4%と 最も多く、「6時間程度」「7時間程度」も 20%を超えています 父親は「8時間程度」が40.7%と 最も多く、「9時間程度」「10時間程度」が 続いています。

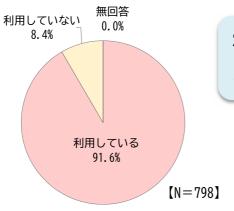
●就労していない母親の今後の就労希望

「一番下のこどもが□□歳になったころに就労したい」が 41.1%と最も多くなっています。 また、その年齢は、「3歳」「7歳以上」がともに 32.6%なっています。



④平日の教育・保育の利用について

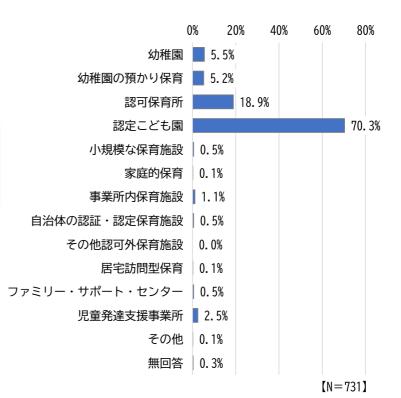
●定期的に利用していますか



定期的な教育・保育の事業の利用状況は、 「利用している」が 91.6%、「利用していない」が 8.4% となっています。

□主に利用している事業□

利用している教育・保育の事業は、 「認定こども園(幼稚園と保育施設の 機能を併せ持つ施設)」が70.3%と 最も多くなっています。



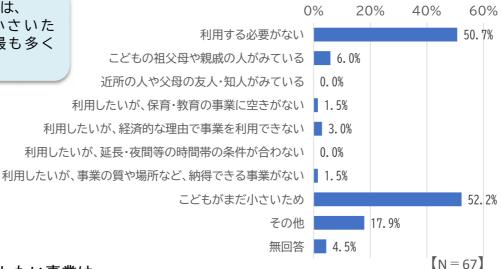
●利用している理由は

0% 20% 40% 60% 80% 100%
こどもの教育や発達のため
子育てをしている方が現在就労している
子育てをしている方が就労予定がある/求職中である
子育てをしている方が家族・親族などを介護している
子育てをしている方が病気や障害がある 1.2%
子育てをしている方が学生である 0.7%
その他 1.4%
無回答 1.0%

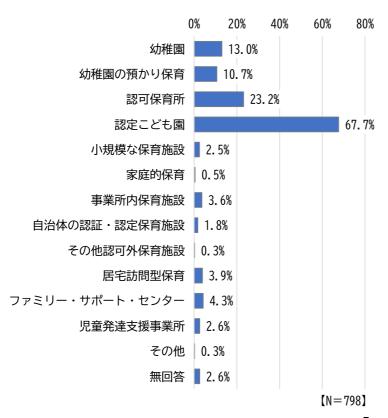
利用している理由は、 「子育てをしている方が 現在就労している」が 81.7%と最も多くなって います。

●利用していない理由は

利用していない理由は、 「こどもがまだ小さいた め」が 52.2%と最も多く なっています。

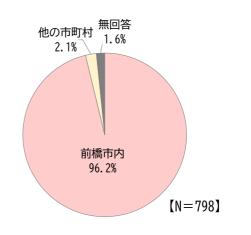


●今後定期的に利用したい事業は



今後定期的に利用したい事業は、

「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」が 67.7%と最も多くなっています。また、利用したい場所については、「前橋市内」が 96.2%となっています。

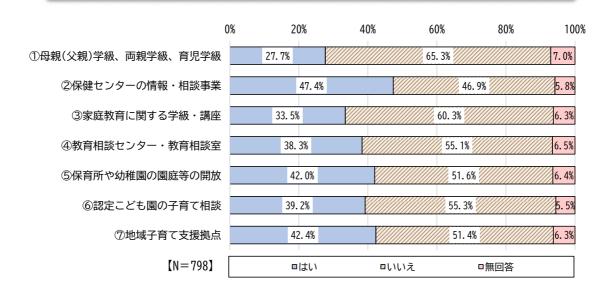


⑤地域の子育て支援事業の利用状況について

●子育て支援拠点事業を利用していますか 0% 20% 40% 60% 80% 100% 地域子育て支援拠点事業 3.1% 「利用していない」が 88.8% となっています。 利用していない 無回答 1.9% [N=798]

●今後、事業を利用したいですか

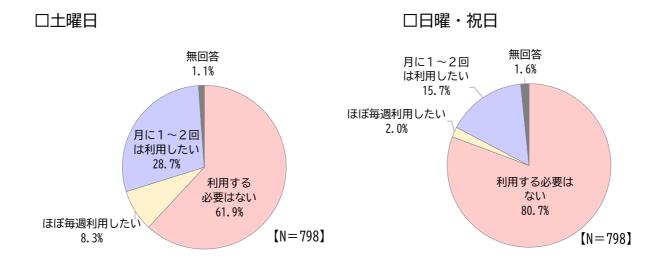
「②保健センターの情報・相談事業」を利用したいが、47.4%となっています。



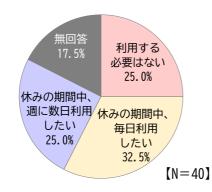
⑥土曜、日曜・祝日、長期休暇中の保育について

●「土曜、日曜・祝日の保育」の利用希望はありますか

「利用する必要はない」では、土曜日が61.9%、日曜日が80.7%となっています。



●「長期休暇中の保育」の利用希望はありますか



「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 32.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 25.0% となっています。

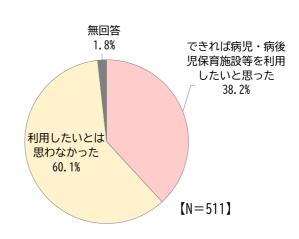
※この設問の回答者は幼稚園に通園されている方のみです。

⑦病児・病後児保育、一時預かりについて

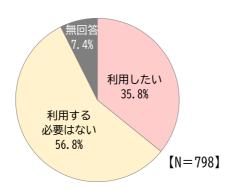
●「病児・病後児のための保育施設等」

「利用したいとは思わなかった」が 60.1%となっています。

その理由については、「病児・病後児を他人に看 てもらうのは不安」「親が仕事を休んで対応す る」の割合が多くなっています。



●「一時預かり」



「利用する必要はない」が 56.8%となっています。

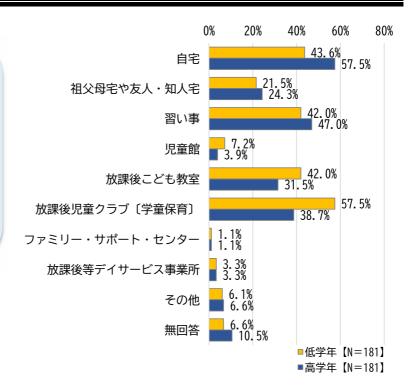
その目的については、

「私用(買物、こども(きょうだいを含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」の割合が多くなっています。

⑧小学校入学後の放課後の過ごし方について(希望)

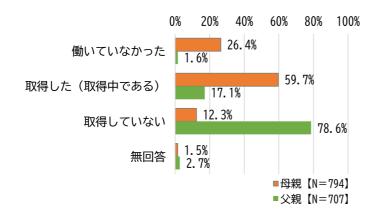
低学年のうちは、「放課後児童 クラブ〔学童保育〕」が 57.5% と最も多く、次いで「自宅」が 46.6%、「習い事」「放課後こ ども教室(遊び場)」がともに 42.0%となっています。

42.0%となっています。 高学年になると、「自宅」が 57.5%、「習い事」が 47.0%と なっています。



⑨育児休業等について

●育児休業を取得しましたか

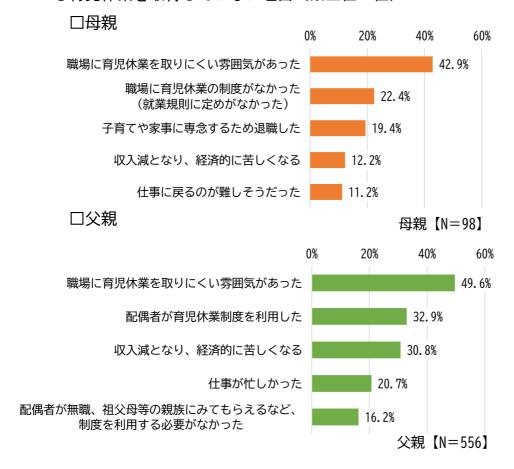


母親では、

「取得した(取得中)」が 59.7%、 父親では、 「取得していない」が 70.404

「取得していない」が 78.6% となっています。

●育児休業を取得していない理由(※上位5位)



母親の理由では、

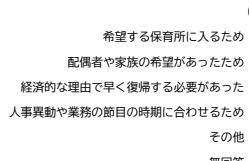
「職場に育児休業を取りに くい雰囲気があった」が 42.9%と最も多く、次いで 「職場に育児休業の制度が なかった(就業規則に定め がなかった)」が 22.4% となっています。

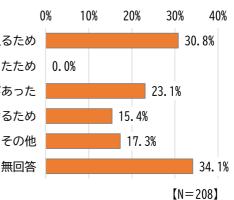
父親の理由では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 49.6%と最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が 32.9%となっています。

●育児休業から復帰する時期が、希望と異なった理由

□母親が早く復帰した理由

早く復帰した理由については、「希望する保育所に入るため」が 30.8%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 23.1%となっています。





□母親が遅く復帰した理由

60% 0% 20% 40% 希望する保育所に入れなかったため 26.7% 自分やこどもなどの体調が思わしくなかったため ____ 6.7% 配偶者や家族の希望があったため 0.0% 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 0.0% こどもをみてくれる人がいなかったため 0.0% 26.7% その他 無回答 46.7% [N=15]

遅く復帰した理由については、「希望する保育所に入れなかったため」が 26.7%と最も多くなっています。

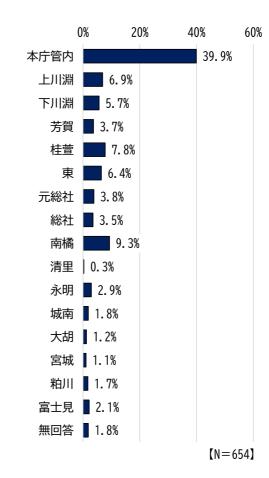
◆ 就学児童保護者 ◆

①お子さんについて

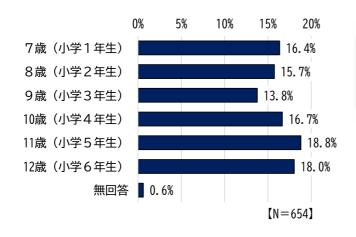
●お住いの地区

お住まいの地区は、

「本庁管内」が 39.9%、「南橘」が 9.3%、 「桂萱」が 7.8%となっています。



●年齢



年齢は、

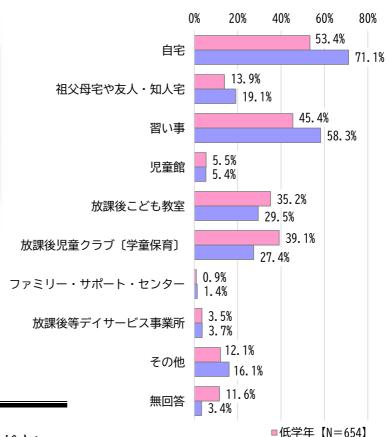
「11 歳 (小学5年生)」が 18.8%、 「12 歳 (小学6年生)」が 18.0%と なっています。

低学年のうちは、

「自宅」が53.4%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が45.4%となっています。

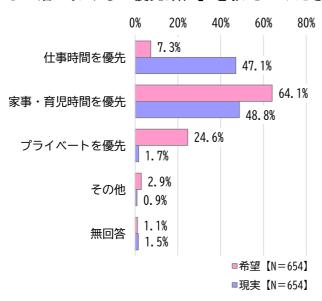
高学年になると、

「自宅」が71.1%、「習い事」が58.3%となっています。



③子育てについて

●生活における「優先順位」を教えてください



希望では、

「家事・育児時間を優先」が 64.1%と最も 多く、次いで「プライベートを優先」が 24.6%となっています。

■高学年【N=654】

現実では、

「家事・育児時間を優先」が 48.8%と最も 多く、次いで「仕事時間を優先」が 47.1% となっています。

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書【概要版】 前橋市

令和6年10月

こども未来部 こども施設課 施設管理係 電話:027-212-0884